

公益目的事業 たたら製鉄の歴史と技術を保存、公開、実践することで日本の鉄文化を保護継承していく活動

1) 博物館等の展示 (指定管理)

① 菅谷たたら山内および周辺施設

- ・外国語対応のQR設置済。計画では財団独自のQR原稿作成を進めていたが、同時期に同事業内容が市観光振興課でもすすめられていることがわかり、QR原稿作成は市との連携で完了させることとなった。訪日利用者の利便向上につながった。

② 鉄の歴史博物館

★企画展の実施 (雲南市政 20 周年記念企画展含む)

- ・速報展示：〈比較研究の成果展示〉

菅谷たたら山内総合文化調査 速報展

「たたら道具のモノ語り」

会期：令和6年6月5日～8月25日

会場：鉄の歴史博物館 1 号館

内容：『菅谷たたら山内総合文化調査報告書』に報告された雲南市政教育委員会文化財課長の角田徳幸氏の菅谷鉦の操業用具関係の報告のうち、報告書で紹介された砂鉄を炉に入れる道具や、鋳出し用具の紹介を行った。

- ・企画展示：〈市制 20 周年記念企画展〉

「渋川恒夫－茶の湯の造形」(詳細は別冊資料へ)

会期：令和6年7月31日～8月31日、会場：鉄の歴史博物館 1 号館

内容：雲南市政市制施行 20 周年記念として雲南市政木次町の世界的な芸術家渋川恒夫氏の作品展を開催した。木次漆器の作品制作を家業としながら、絵画作品制作も盛んに行い、三斎流雲南翠木会という茶道会の会長も長く勤められ、陶芸作品も多く製作された。今回は雲南市政所蔵の渋川氏作品の中から「茶の湯」に関する陶芸品と漆芸品約 30 点を展示した。

- ・企画展示：〈市制 20 周年記念企画展〉「内藤伸－内藤伸と茶の湯」(詳細は別冊資料へ)

会期：令和6年8月29日～12月28日、会場：内藤伸記念室

内容：こちらも市制 20 周年記念の展示として開催。渋川氏同様、内藤伸も雲南翠木会の前身の三水会の設立メンバーでもあり、茶の湯に造詣が深かった。今回は博物館所蔵の内藤伸所有品の中から、特に茶道具を中心に展示を行った。





- ・企画展示：＜市制 20 周年記念企画展＞「糸車のかたち」（詳細は別冊資料へ）
会期：令和6年11月1日～12月28日、会場：鉄の歴史博物館 2 号館
内容：雲南市域の民具として特徴的なイトグルマをはじめワタクリキなど約 40 点を展示。
糸つむぎのワークショップも開催した。



★展示・整理業務

① 職員による文化財整理：常設展示の整理作業、収蔵スペースの整理を進めた

・宇波鋳物師製品の整理

鉄の歴史博物館開館当初に島根県安来市広瀬町の細田家から寄贈を受けた宇波鋳物師の製品について、島根県古代文化センター専門研究員とともに整理作業を行った（調査成果は、山陰中央新報「いまどき島根の歴史 345 <宇波の鋳物師 生活必需品の生産担う>」の中で、鉄の歴史博物館の所蔵品が掲載された）。

・内藤伸記念室 2 階（収蔵庫予定）の整理

内藤伸記念室 2 階の清掃作業を引き続き行い、収蔵庫として利用できるように進めている。

・1 号館 2 階の内藤伸関係品収蔵庫内の整理

内藤伸が描いた作品や旧蔵品の掛軸、陶器類の収納桐箱を製作・収納するとともに、収蔵庫内にスチール棚を新たに設置し、整理作業を進めた。



・内藤伸旧蔵の写真・絵葉書関係の整理

内藤伸旧蔵の写真や絵ハガキについて、受け入れ当時の台帳と照合しながら現在も整理作業を続けている（整理作業の成果として、テレビ東京「開運なんでも鑑定団」の内藤伸の回において、これまで外に出していなかった写真を出した）。

・鉄の歴史博物館 1 号館 1 階及び内藤伸記念室 1 階の整備

下記の渋川恒夫展の開催前に、展示ケースの移設（2 台ある内、片方）・物販スペースの集約化、木製マガジンラックの新設し、1 号館受付周辺の整備を行った。また内藤伸記念室内も導線をわかりやすくし、スポット展を行うスペースを新設した。



- ② たたら塾生との民具整理などの文化財教育活動をすすめた
- 7月26日 米倉の民具整理 @菅谷たたら山内
 - 9月15日 寄贈うちわの整理 @鉄の歴史博物館
 - 9月29日 鉄の歴史村講演会で展示するたたら塾の活動紹介パネル作成
- ③ 文化財等の新規受入とその整理。たたら文化や郷土の歴史文化に関わる資料の収集
- (ア) 個人より、たたら関連書籍一式：寄贈、令和6年4月
 - (イ) 個人より、佐藤家所蔵古写真データー式：寄贈、令和7年2月
 - (ウ) 個人より、竿秤と分銅3点、杓、マスカキ4点、コメブクロ1点：寄贈、令和7年2月
 - (エ) 個人より、常松家文書一式（若槻屋文書含む）：寄託（期間：年度ごと自動更新）、令和7年2月
 - (オ) 個人より、田部清蔵氏旧蔵書類一式：寄贈、令和7年2月

★菅谷・鉄の歴史博物館共通

① 出前展示

- ・会場：道の駅たたら場壺番地、期間：令和6年8月中
夏休みこども体験の小だたら操業（たたら操業2023）の鉬の展示



② 他館連携

- ・令和6年度から新たに、境港市観光振興課が主体となるミュージアムネットワーク「山陰まんなか、巡らいや」に加盟し、PR活動を行っている。
- ・兵庫県立博物館の特別展「ひょうご鉄ものがたり」（会期：令和6年10月5日～11月24日）開催にあたり、資料調査協力と鉄の歴史博物館の常設展示品21点の借用に対応した。
- ・雲南市久野交流センターの「米袋展」への展示協力（下記は山陰中央新報2025年3月12日掲載記事）



③ 入館実績

- ・菅谷たたら山内 7,397人（令和5年度 8,832人、令和4年度 6,972人）
- ・鉄の歴史博物館 4,556人（令和5年度 4,599人、令和4年度 4,115人）

2) 講座、セミナー、育成事業

①鉄の歴史村の講演会：菅谷たたら山内総合文化調査報告会5（詳細は別冊資料へ）

継続する菅谷たたら山内総合文化調査の報告会の第5弾として実施し、抄録を作成した。

開催日：令和6年10月13日（日）、会場：雲南市吉田健康福祉センター 2F 集団指導室

令和6年度 公益財団法人鉄の歴史村地域振興事業団 事業報告書

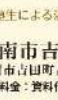
第1部は大和大学教授の徳安浩明氏に「鉄穴流しの研究最前線」というテーマで基調講演をいただき、第2部は総合文化調査報告会として、総合文化調査報告書5の内容を基に雲南市教育委員会文化財課長の角田徳幸氏、松江高専人文科学科教授の島谷智文氏にご登壇いただいた。



八幡、たたら、たたら

第1部

基調講演
9:50 ~ 10:50



徳安浩明氏
大和大学社会学部教授

「鉄穴流しの研究最前線」

あんなにむかし



第2部

総合文化調査報告会

11:00 ~ 11:30
「菅谷鋸の操業用具・鋤出し用具」
角田徳幸氏 雲南市教育委員会文化財課 課長

11:35 ~ 12:05
「幕末～明治期における
たたら製鉄業の経営方針と推移」
鳥谷智文氏 松江工業高等専門学校人文科学科 教授

◆ たら発生による活動紹介のパネル展示があります ◆

**鉄の歴史村の
講演会**

令和六年度

第五回 菅谷たたら山内総合文化調査報告会

十月十三日「日」

開場 九時十五分
開会 九時四十五分

会場 雲南市吉田健康福祉センター
雲南市吉田町吉田 1066
参加料金：資料代 300 円（たたら、たたら発生・製造体験は無料）

主催：公益財団法人たたら製鉄復興事業団
共催：雲南市、雲南市教育委員会、徳安浩明先生講演会、雲南たたらプロジェクト会、
吉田健康福祉協議会、一般社団法人日本鉄鋼学会

お問い合わせ

鉄の歴史村
地域復興事業団

無料観覧券吉田町吉田 2533
TEL: 0854-74-0311
E-mail: info@tata-heritage.jp
<http://www.tata-heritage.jp/>



Instagram



② 博物館講座：「たたら塾」（詳細は別冊資料へ）

地域の人たちとともに、文化財研究活動を展開する〈地域部会〉と、博物館事業に関するサポーターをボランティア活動員として募集し、生涯学習や自己研鑽の場とする〈サポート部会〉がある。令和 6 年度は以下の事業を実施した。

回数	開催日	曜日	時間	イベント名	会場	概要・目的
第1回	7/27	土	10:00～15:00	文化財整理①	菅谷たたら山内	(講師) 財団職員 (内容) 収蔵品整理業務に参加いただき、博物館・文化財をより身近に。
第2回	8/3	土	9:00～16:00	小だたら操業	和鋼生産たたら体験交流施設	操業を体験し、たたら製鉄の知識をより深めてみましょう。
第3回	9/15	日	10:00～15:00	文化財整理②	鉄の歴史博物館	(講師) 財団職員 (内容) 鉄の歴史博物館の収蔵品整理業務に参加いただき、博物館・文化財をより身近に。
第4回	9/29	日	10:00～15:00	講演会でのパネル展示の準備検討	鉄の歴史博物館	たたら塾の活動を紹介
第5回	10/13	日	—	鉄の歴史村の講演会 パネル展示	雲南市吉田健康福祉センター	たたら塾の活動を紹介
第7回	3/16	日	—	たたら文化伝道師検定	—	初級と上級の検定 申込開始は1月から

③たたら伝道師検定（詳細は別冊資料へ）

令和5年度から有効期限無しの資格認定が始まり、令和6年度で2回目の実施となる。

(1) 試験実施日：令和7年3月16日（日）

(2) 試験会場：チェリヴァホール（島根県雲南市木次町里方55）3F 大会議室

・上級7名、初級18名が受験され、以下の結果となった（（参考）令和5年度は初級49名受験され、21名の方が合格された）。

【初級】合格（18問以上正答）は14名（合格率：77.7%）。満点者なし。最高は25問正答。

【上級】合格（21問以上正答）は1名（合格率：14.2%）。満点者なし。最高は21問正答。



④出前講座・講演＜財団職員が出向＞

・令和6年4月20日「雲南市の「たたら製鉄」～技術と歴史文化～」

山陰網膜色素変性症協会第29回定期総会 講演（@清嵐荘）

・令和6年10月18日「「たたら製鉄」入門～技術と歴史文化～」

雲南市観光ガイド養成講座 令和6年度第1回（@雲南市吉田健康福祉センター）

3）体験事業等（指定管理）（詳細は別冊資料へ）

①近代たたら操業（年2回実施）

第1回 令和6年6月8日～9日 （株）たなべたたら の里様

第2回 令和6年10月28日～29日 財団・(株)たなべたたら の里様【共催】＜雑炭操業＞

②小だたら操業

・永田式小だたら：2回実施（財団との共催）

令和6年6月9日 会場：出雲市立斐川西中学校

令和7年3月9日 会場：雲南市和鋼生産たたら体験交流施設

・小だたら出張指導：令和6年7月10～16日 会場・対象：松江工業高校定時制の学生

・吉田小・田井小学校：令和6年9月26～27日 会場：雲南市和鋼生産たたら体験交流施設

→この前後で砂鉄採取体験や、鋼材を使つての小刀づくり体験なども実施。

- ③ペーパーナイフづくり体験、和鋼小刀づくり体験（施設を一時閉鎖する令和6年9月まで）
- ・このうち、ペーパーナイフづくり体験は、「しまね家庭の日（毎月第3日曜日）」は、家族連れのうち1名を無料とした。
 - ・和鋼小刀づくり：4名、ペーパーナイフづくり87名、侍ペーパーナイフづくり：11名
（令和5年度との比較：和鋼小刀2名、ペーパーナイフ82名、侍ペーパーナイフ37名）
- ④子ども体験事業：「雑炭小だたら」
- ・夏の小だたら体験：令和6年8月3日

4) 表彰・コンクール

タイトル：「集え！『鉄歴写真部 R701』」

開催期間：令和7年1月6日～2月14日

開催内容：今年度はインスタグラムの利用傾向を考え、ハッシュタグによる投稿に限定せず写真の郵送、メール添付による投稿も受付開始。優秀作品は3/1以降鉄の歴史博物館で展示した。

受賞者：氏名非公開、記念品：亀栄堂 味噌饅頭



5) 調査研究・資料収集

- ①菅谷たたら山内とその周辺におけるたたら製鉄の比較研究

刊行物『菅谷たたら山内総合文化調査報告書6』

刊行年月日：令和7年3月31日、部数：300部、調査執筆者
及び内容は下記の通り

鳥谷 智文氏（論文）明治中後期における田部家「大坂出店」で
把握された鉄鋼商人・職人

角田 徳幸氏（資料紹介）菅谷鉦の製鉄用具4

新野邊幸市氏（技術報告）輸入砂鉄を用いた近代たたら操業で
得られた鋳塊の組織観察

春日 瞳氏（資料紹介）飯石郡栗谷村を拠点とした鉄の流通
について

菅谷たたら山内
総合文化調査報告書6

2025年3月

公益財団法人 鉄の歴史村地域振興事業団

岩城こよみ（資料紹介）菅谷たたら山内の民具1

※総合文化調査報告書第4・5・6号については、財団HPにてWEB UPを済ませた。

②鉄の歴史博物館の展示替え

- ・調査研究体制を整え、館の展示替えを行うとともに、収蔵品の調査、目録の再作成を行った。

→「**1）博物館等の展示**（指定管理）— ★展示・整理業務」のところも併せて

③文化財の蒐集・受け入れと整理

文化財等の新規受入とその整理。たたら文化や郷土の歴史・文化に関わる資料の収集。

（ア）個人より、たたら関連書籍一式：寄贈、令和6年4月

（イ）個人より、佐藤家所蔵古写真データー一式：寄贈、令和7年2月

（ウ）個人より、竿秤と分銅3点、榼、マスカキ4点、コメブクロ1点：寄贈、
令和7年2月

（エ）常松家文書一式（若槻屋文書含む）：寄託（期間：年度ごと自動更新）、
令和7年2月

（オ）個人より、田部清蔵氏旧蔵書類一式：寄贈、令和7年2月

④歴史文化活動に関する助成金申請

調査研究、資料収集に必要な事業費を見込む場合、助成金の申請を行った。

- ・助成金申請：1件→不採択

事業名：小だたら操業2024（夏の子供体験事業）

申請先：島根経済文化振興会、申請額：25万円 ※事業内容を変更し事業自体は実施

⑤調査協力・取材協力

- ・菅谷及び鉄の歴史博物館：4件（映像撮影1件、写真撮影2件、調査協力1件）
- ・菅谷たたら山内：10件（映像撮影4件、写真撮影3件、資料掲載3件）
- ・鉄の歴史博物館：16件（映像撮影1件、写真撮影1件、資料掲載11件、資料貸出3件）
- ・和鋼施設：1件（映像撮影1件）

収益事業 博物館等公開展示施設における商品の販売

1）（過去の財団操業で製作した）鉤、半製品の販売

鉤300kgを、株式会社たなべたたら山内様にご購入いただいた

2）オリジナル商品の開発、販売

オリジナル商品は195,240円の売り上げ。新たに商品となったペーパーナイフの売上が好調。

（令和5年度売上：190,660円 4,580円の売上増）

- ・「財団鍛冶職人謹製ペーパーナイフ」の販売（¥1,500 販売数:63本）

- ・鉤ボトル（¥600 販売数:31個）、「かつらのか」（2個1セット¥100 販売数:126個）等の販売

- ・グリーンシャワーからの寄贈商品「一筆箋(¥120)」 「封筒(¥200)」
- ・日本遺産イベント(鉄の道文化圏)など、外部イベントへの出店(ハガネピース、ハガネピク、マスキングテープ等の販売)

3) 受託商品販売【新規】

令和6年度より下記方々と受託販売契約を締結し、鉄の歴史博物館において販売を始めた。
特に内藤伸ゆかりの子安観音の物販は内藤伸記念館を擁する本館として強みになる。

- ・吉田公園クラブからの委託販売商品「子安観音札」「子安観音お守り」
- ・委託販売商品「(鉄字) 手ぬぐい」
- ・委託販売商品「内藤伸デザインの手ぬぐい」

4) たたら文化伝道師検定

- ・公式テキスト『雲南のたたら文化』(119冊販売(令和5年度は45冊)、雲南市内へ行き渡るように¥1,000で販売)、伝道師検定の受験料収入

管理部門

1) 賛助会員の確保と普及活動(令和7年3月末時点で個人92名(5名減)、団体7団体)

- ①会員募集 - 個人会員(年会費一口5,000円)、団体会員(年会費一口30,000円)
- ②賛助会誌発行: 令和6年度は年2回発行

2) 情報発信: 情報発信頻度を増やす

＜ホームページの活用＞

- ・博物館事業—鉄の歴史博物館の説明ページ中に、「内藤伸記念室」の情報追記(記念室が存在することをもっと広く知ってもらうため)。
- ・調査研究のページを、より見やすくなるように画面遷移の順番等を整理。



<ブログ、Instagramの活用>

- ・Instagramについては、ハッシュタグイベント参照
- ・令和6年度も企画展示や各種イベントの情報などを、Instagramによる積極的な情報発信を行った。
- ・「たたら道具のモノ語り」の展示の際に、インスタフォロワーキャンペーンを実施

<その他広報活動>

【雑誌掲載・情報提供】

- ・山陰中央新報社「あるつく」、「島根県教育旅行素材集」、「ドライブガイド中国・四国」、JR おでかけネット、ナビタイムジャパン、るるぶ等多数の媒体へ施設情報を掲載し、広報を行った。
- ・企画展「糸車のかたち」開催にあたり、『うしおむら』104号・『入間交流センターたより』174号・日本民具学会の企画展情報に企画展情報を提供した。
- ・その他、会員限定だが年3回の賛助会誌を発行し、財団の活動を報告している。

【テレビ】

- ・令和6年8月 雲南市・飯南町事務組合「雲南夢ネット」ケーブルTV
ケーブルTV番組「島根の魅力発見！ふるさと・うん・いい物語」（鉄の歴史博物館紹介）
- ・令和6年9月 雲南市・飯南町事務組合「雲南夢ネット」ケーブルTV「情報NEXT+」
鉄の歴史博物館企画展「渋川恒夫展」の紹介
- ・令和6年12月 雲南市・飯南町事務組合「雲南夢ネット」ケーブルTV「情報NEXT+」
鉄の歴史博物館企画展「糸車のかたち展」の紹介

【Youtube】

- ・令和6年5月 サントリー公式チャンネル
サントリー地域文化賞 島根県雲南市『鉄の歴史村づくり』の紹介(地域文化賞を過去受賞)



3) 理事会の開催

令和6年5月19日【臨時・書面：評議員選定委員会選任】、6月8日、6月23日【臨時：代表理事選出】、令和7年3月8日

4) 評議員会の開催

令和6年6月23日、令和7年3月23日